

# 「日本禁煙学会雑誌」投稿規定

2019年9月13日改訂

## 1. 編集方針

日本禁煙学会雑誌（英文名：Japanese Journal of Tobacco Control、略称：禁煙会誌、英文略称：Jpn J Tob Control、以下「本誌」と略す）は日本禁煙学会（以下「本会」と略す）が2か月に1回発行するオープンアクセスジャーナルである。

本誌は、喫煙・受動喫煙の有害性、喫煙対策、禁煙推進、禁煙治療等に関する基礎的・臨床的・社会的研究に関する内容を受け付ける。投稿に際しては、"Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing, and Publication of Scholarly Work in Medical Journals" (<http://www.icmje.org/icmje-recommendations.pdf>) を参考とし、本投稿規定に従うこととする。

投稿された論文は、最初に編集委員長が本誌の目的やレベルに適しているか否かを決定する。査読に相応しい論文は、論文領域に精通した本会役員や Scientific Advisor が査読を行う。査読終了後の論文に対して、最終的に編集委員会が掲載の可否を決定する。採用された論文の権利等の帰属は本会のものとなるが、論文の内容に関する責任は、引き続き著者が負うものとする。

## 2. 発刊方法

本誌は本会のホームページに掲載され、また科学技術振興機構が運営する電子ジャーナル (J-STAGE) においても公開されているオープンアクセスジャーナルである。

## 3. 投稿資格

投稿者は本会会員であることを原則とする。投稿論文は他誌に掲載されていないか、掲載される予定のないものとする。

## 4. 著者の利益相反

論文を投稿する際には、すべての論文著者は、論文内容やデータと利害関係を有するバイオテクノロジー企業、製薬会社、その他商業団体との過去3年間における金銭的関係を開示する。また共著者を含む著者全員がタバコ会社からの資金提供を一切受けていないことを明記する。

開示が必要な事項は以下のとおり：

- 雇用、役員、顧問職：年間100万円以上
- 株式やストック・オプションの保有：年間100万円以上の利益、または当該株式全体の5%以上保有

- 特許使用料：年間 100 万円以上
- 謝礼金（講演料等）：年間 50 万円以上
- 宣伝用資料費（原稿料等）：年間 50 万円以上
- 研究費：年間 100 万円以上
- その他（研究とは無関係な旅行、贈答品）：年間 5 万円以上

## 5. 倫理規定

人や動物を対象とする研究については「ヘルシンキ宣言」に準拠していることを明記し、人を対象とする研究については「倫理委員会」等の承認を得た後に実施したことを明記する。組換え DNA 実験内容を含む論文については、物理・生物学的封じ込めの方法に関する政府が承認した適切なガイドラインに準拠していることを明記する。「[臨床研究法](#)」で定める特定臨床研究に該当する研究（未承認・適応外の医薬品に係る臨床研究等）は、同法で定める手続きを経た上で投稿する。

個人プライバシーを保護するため、次のような個人のデータを論文に含めない。：個人の氏名、イニシャル、ID 番号、住所（都道府県名または州名のみ可）、臨床経過や行為が特定できるような日付（日付は〇月上旬、中旬、下旬と記載）、顔写真（写真は患部に焦点を当て、個人を特定できないもの）。研究を実施する前に参加者個人（または参加者の法的な保護者）から同意書を取得する。これらの書類を編集事務局から要求された際には、必ず提出する。

## 6. 論文の種類

I. 原著、II. 総説、III. 症例報告・事例報告、IV. 調査報告・特別報告、V. 資料・記録、VI. 短報、VII. Letters to the Editor、VIII. その他とする。

### I. 原著

禁煙学や専門領域に関する独創的な研究論文とする。

### II. 総説

総説は、通常は編集委員会からの執筆依頼によるが、依頼のない総説も投稿を受け付ける。

### III. 症例報告・事例報告

症例報告は臨床例、事例報告は禁煙化成功等の社会的事例とする。

#### IV. 調査報告・特別報告

調査報告は、限定された対象の調査研究とし、原著レベルには至らないものとする。また特別報告は国際学会（APACT や FCTC の COP 会議）の報告とする。

#### V. 資料・記録

資料は、地域での禁煙推進活動報告、タバコに関する裁判の結果、社会活動の報告、禁煙に関するガイドライン等を含む。また学術総会の特別講演・シンポジウムを資料として受理することもある。記録は日本禁煙学会の活動記録等を指す。

#### VI. 短報

短報は学術論文であるが、速報性を重視した内容の論文とする。

#### VII. Letters to the Editor

Letters to the Editor は、本誌に掲載された論文に対する各種の意見（追加、討議、希望など）を書簡の形で書いたものとする。必要があれば、著者・編集者・査読者からの返事も追加記載する。編集委員会から Letters to the Editor に対する返答の投稿要請があった場合、対象となる論文の著者は速やかに対応することが求められる。

#### VIII. その他

投稿された原稿が上記カテゴリーに入らないが編集委員会が必要と認めた原稿は受理する。学術総会特別号（禁煙学会学術総会抄録集）は禁煙学会雑誌として扱う。

### 7. 原稿の作成（共通）

原稿本文：コンピュータソフト（MS Word 等）にて作成し、横書き、新かなづかいを用いる。A4 に 1 頁 32 字×25 行（=800 字）とし、フォントサイズは 12 ポイント、日本語は、MS 明朝、英字は、Times New Roman、句読点は、全角「、。」、数字、英字、英文抄録は半角文字で作成する。略語は最初に用いる時に原則として略さず書き定義することとする（例：慢性閉塞性肺疾患（Chronic Obstructive Pulmonary Disease; COPD））。なお論文タイトルと要旨においては、一般的に汎用されている略語についてのみ本文中に略さず書き、定義することを前提として使用を認める。固有名詞、化学物質名、一般的でない薬品名等は原語を用いることとし、生物などの学名は二名式命名法により、イタリックで書き（例：*Streptococcus mutans*）、たびたび使用する場合は第 2 回以後に属名を略字（例：*S. mutans*）としてもさしつかえない。なお、医薬品名のアルファベット表記については、販売名（商品名）は固有名詞として扱い大文字で始め、一般名は普通名詞として扱い小文字で始める。製品は、製品名：商品名、会社名、海外製品は国名を記載する。文字数は本文・引用文献で全角文字 8,000 字以内とする。（目安：出来上がり論文 1 ページが 1,600 字）

表：コンピュータソフト（Excel 等）で作成し、画像化しない。

図：線画の解像度は 600dpi 以上、写真の解像度は 300dpi 以上とし、DOC(X), XLS(X), PPT(X), JPG, TIFF, GIF および EPS フォーマットとする。

## 8. 論文の構成（和文の場合）

原著、総説、症例報告・事例報告、調査報告：

### (1) カバーページ

論文タイトル（40 字以内）、著者名、会員番号（非会員の場合は非会員と明記）、所属機関名および連絡先（E-mail アドレスも明記する）を記載する。研究が実施された機関の名称、住所、助成金の情報等も記載する

### (2)要旨(400 字以内)

研究目的、主な知見と主要な結論を述べる。原著論文に限っては、目的、方法、結果、考察、結論（結語）にわけて記載する。

### (3)キーワード、短縮タイトル

キーワードは 5 語以内で日本語と英語を併記する。短縮タイトルは 25 文字以内とする。

### (4)緒言

### (5)研究対象、方法

### (6)成績

### (7)考察

### (8)謝辞

### (9)引用文献

引用文献は、原則として、原著 30 編以内、総説は制限なし、症例報告・事例報告、調査報告は 15 編以内、短報は 6 編以内、Letters to the Editor は 3 編以内とする。文献は本文に引用した順に番号（上付き）をつけ、末尾に一括して記載する。著者名、編者名は 3 名までの場合は全員を書き、4 名以上の場合は 3 名連記の上 -, ほかにあるいは -, et al とする。著者名は姓が先、名を後とし、著者名間は半角コンマとスペースで区切る。文献の表題は、副題を含めて、すべてのタイトルを書く。また雑誌名は一般的な略称を使用する。学会発表の抄録を引用するときは表題の最終に（会）、欧文発表の場合は（abstract）とする。

○雑誌からの引用<著者氏名：題名．誌名 西暦発行年；巻数：起始頁-終頁．>

- 1) 高野義久，橋本洋一郎，川俣幹雄，ほか: 熊本県民の受動喫煙に関するアンケート調査. 禁煙会誌 2012; 7: 83-92.
- 2) DiFranza JR, Savageau JA, Rigotti NA, et al: Development of symptoms of tobacco dependence in youths: 30 months follow up data from the DANDY study. Tob Control 2002; 11: 228-235.

○単行本の引用<著者氏名：題名．書名．版数．発行所，発行地，西暦発行年；巻 数，引用ページ．>

- 3) 鈴木幸男: 禁煙の医学. 受動喫煙による疾患と対策. 化学物質過敏症. In: 日本禁煙学会編. 禁煙学 (改訂3版). 南山堂, 東京, 2014 ; p79-85.
- 4) International agency for research on cancer: Type of cigarette and inhalation. In: IARC monographs on the evaluation of carcinogenic risks to humans: Tobacco smoke and involuntary smoking. International agency for research on cancer, Lyon, 2004 ; vol 83, p167-171.
- 5) Woolner LB, Colby TV: Early detection in lung cancer. In: Henson DE, Albores SJ, editors. Pathology of incipient neoplasia. 2nd ed. WB Saunders, Philadelphia, 1993; p112-118,

○ウェブサイトからの引用は、URL の後に閲覧した年月日を記載する。

- 6) 日本学校保健学会: 「タバコのない学校」推進プロジェクト. <http://openweb.chukyo-u.ac.jp/~ieda/Project.htm> (閲覧日: 2015年1月21日)

○受理されていない論文の引用は、原則として文献欄に含めてはならない。

#### (10)英文抄録

英文抄録は、400語以内とし、表題、著者名、所属機関も英語で記載する。

#### (11)図・写真の説明 (12)表 (13)図・写真

図・表・写真に用いる文字および図・写真の説明文は原則和文表記とし全角で作成する。また図・表・写真は8個以内とする。

図説：英文抄録の次のページから書き始める。各図説の最後にアルファベット順で、図の中で出現する略語のフルスペルを記載する。図内で矢印が使用されている場合には、図説内で特徴を示した後、“(arrow)”と記載する。

図・写真：小数や折れ線等は、一段組みや二段組み、中間の幅に狭めた際に、複製しても崩れないものにする、大きめと小さめの字体を混ぜず、ほぼ同じ大きさの字体に揃えること、特徴を明確に示す場合には矢印を使用すること、図にタイトルは付けないこと、タイトルは図説内に含めること、複数枚からなる図については、各図のバランスを考慮すること、本文中での出現順で図に番号を付けること、既に掲載されている図を再利用する際には、出版元や著者から得た許可書を提出すること、図を必要な数や寸法に制限すること、個人が特定できるような写真が含まれている際には、掲載についての同意書を提出することとする。

表：各表に番号（アラビア数字：Table 1, 2等）とタイトルを付けること、本文中での出現順で表に番号を付けること、表中では縦線は入れないこと、表中で使用される略語がある場合は、各表の脚注にフルスペルを記載することとする。

#### (14) その他

ページ番号を下中央に記入する。(1)(2)(3)(4)(9)(10)(11)(12)(13)で改頁する。

**総説**：以上に同じとし、内外の最近の知見を総説的に記述したものに限る。

**資料**：上記に準じるが、要旨、英文抄録は不要とする。

**短報**：本文・引用文献は全角文字 3,000 字以内、写真、図、または表を 2 個以内、100 字以内の和文および 100 語以内英文の抄録（同一内容）をつける。キーワードは 5 語以内とする。

**Letters to the Editor**：原稿は全角文字 1,200 字以内とし、写真・図・表はつけない。抄録は不要、キーワードは 5 語以内とする。

### 9. 論文の構成（英文の場合）

構成は和文に準じるが、和文の場合の(10)英文抄録に替えて、400 字以内の和文抄録を作成し、表題、著者名、所属機関も日本語で記載する。

### 10. 日本語の表現について

標準使用法	下記は左の標準使用法に修正
か月	ヶ月、カ月、箇月、個月
か所	ヶ所、カ所、箇所、個所
1kg	1Kg
1 本	一本
1 箱	一箱

\* タバコの表記は、固有名詞（日本たばこ産業など）以外は「タバコ」に統一する。

### 11. 投稿の方法

著者は、筆頭著者用チェックリスト（WORD 版または PDF 版）をダウンロードしてチェックしたものと、論文を記載したワードファイル、写真・図・表のファイルをメールに添付し、メール本文に姓名、所属、会員番号を明記し、こちらの禁煙会誌投稿専用アドレスへ送信する。その際、共著者全員の姓名、メールアドレスを記載し、そのうち、シニアオーサーを明記する（本人でも可）。

注）投稿後、1 週間経っても返信がない場合には、雑誌編集事務局（株）クバプロ（TEL: 03-3238-1689）に連絡する。

### 12. 掲載料と超過料金

本誌への掲載は無料である。

### 13. 著作権利用等について

掲載論文の印刷、刊行、図表の引用および転載に関する許可の権限は日本禁煙学会に所属する。掲載論文の抄録部分（要旨を含む）のデータベース化や抄録雑誌への二次的使用ないし転載、および当該論文の複写機器による電子的・光学的複写の許諾権は日本禁煙学会に委託されたものとする。またこれによる使用料は日本禁煙学会に帰属するものとする。

#### **14. 利害相反違反、二重投稿や研究倫理違反行為**

これらが発覚・判明した場合には、著者全員が責任を負い、編集委員会が決定した処罰の対象となる。